

青少年教育・体験活動 ボランティア養成フォローアップ研修

平成29年9月16(土)～17日(日)

【目的】

自然体験活動の指導者に求められる基本的な知識・技能の習得を通して、「青少年教育・体験活動ボランティア養成研修」を受講した者の資質・能力を高める。

【参加者】8名

【プログラムの内容】

1日目

- 10:30 開講式、ガイダンスⅠ
- 11:00 アイスブレイク
- 13:00 講義・演習「自然体験活動の特質」
- 14:45 講義・演習「自然体験活動の技術」
- 19:30 講義「対象者理解」

2日目

- 9:30 講義「自然体験活動の特質」
- 11:15 講義「自然体験活動の指導」
- 13:45 ガイダンスⅡ
- 14:15 認定試験
- 15:00 閉講式

講義「ガイダンス」



心の安全を確保するためにアイスブレイクをしました。

そのあと、NEALの制度と今回の講習会について目標を確認しました。

講義・演習「自然体験活動の特質」



まずは、個人ごとの課題を確認し、それを実践しながらオリエンテーリングを体験しました。

グループでの活動で起きる心の動きを体験しました。

講義・演習「自然体験活動の技術」



ボランティア養成講座の際に行った野外炊飯を思い出し、オリエンテーリングと比較しながら、それぞれの活動で学べる知識や技能について話し合い、それを効率よく学んでもらうためには、スタッフのどのような関わりが必要かをまとめました。

グループによって気付いたことが違うことが分かり、いい共有の時間になりました。



講義「自然体験活動の特質」



講師の木橋先生から、体験活動の見方・考え方についてミクロな視点からマクロな視点まで幅広く教えていただきました。日頃自分たちが提供している体験活動について見直すことができました。

講義「自然体験活動の指導」



組織キャンプの考え方を学んだ後、「よい指導者とは」をテーマにワークショップを行いました。なんとなく考えていたことをいざ言葉にしようとすると、なかなか言葉になりませんでした。

【参加者の声】

- ①OLで実際に経験することで新たな発見ができた。
- ②重要ポイントをわかりやすく教えてくださいました。
- ③カウンセラーは聞き上手だと思います。私も相手の言葉を引き立てる声かけを身につけたいです。
- ④客観的に物事を見る難しさ、メタ認知の難しさを感じた。
- ⑤理想の先生という具体的なイメージがあれば、これからの活動の目的意識ができて、取り組みやすくなるなと思いました。

【担当者より】

本研修のねらいは自然体験活動事業における「リーダー」の育成であることから、参加者が、リーダーの役割や取るべき具体的な言動を主体的に考えるような研修の内容にすることができました。

一方で、参加者の少なさが課題です。要因として、対象を今年度ボランティア登録した者にしたことがあげられます。次年度はボランティア登録者全員を対象とするとともに、参加しやすい時期を対象者にリサーチし設定することとします。